

---

---

# 2026 法職課程

---

---

法科大学院進学・公務員(法律関係職)をめざす皆さんのための特別研修講座

- 申込方法・受講料、受講料応援制度 ..... p.1
- 法学入門講座 ..... p.3
- 法学基礎マスター講座 ..... p.4
- 小論文対策講座 ..... p.5
  - A. 公務員試験政策課題対策コース
  - B. 法科大学院法学未修者入試対策コース
- 弁護士・裁判官・検察官(法曹)を志す方へ ..... p.6
- 法職課程相談室 ..... p.7
- 法職課程研修室 ..... p.8
- 合格者からのメッセージ ..... p.9

## 法職課程4つの特長

1

講座の選択肢が多彩

法曹・公務員(法律関係職)・学部法律科目試験に生きる講座とゼミ

2

工夫された講義・スケジュールときめ細やかな個別指導

組み合わせで自分に合った学習スケジュールが可能

3

ワンランク上の学習サポート：法職課程相談室、研修室など

法職カウンセラーが常駐し、効果的な学習計画等の検討などきめ細やかに対応

4

価格がリーズナブル

定評ある講座を安価で受講可能

# 法曹および公務員(法律関係職)をめざす皆さんへ

法職課程は、法曹および公務員(とくに法律関係職)への就職をめざす龍谷大学の学生の皆さんのために本学が開設するもので、大学の正規のカリキュラムを補完する特別研修講座です。

法律にたずさわる職業としては法曹三者(裁判官・検察官・弁護士)以外にも、法律分野で活躍する公務員として、裁判所事務官、検察事務官、国税専門官、法務局・労働局職員、国家公務員総合職などがあります。さらに、国の各省庁や、地方自治体の行政職として採用された後に、法令・条例等の立案や法令解釈等を担当する職員として活躍する道もあります。

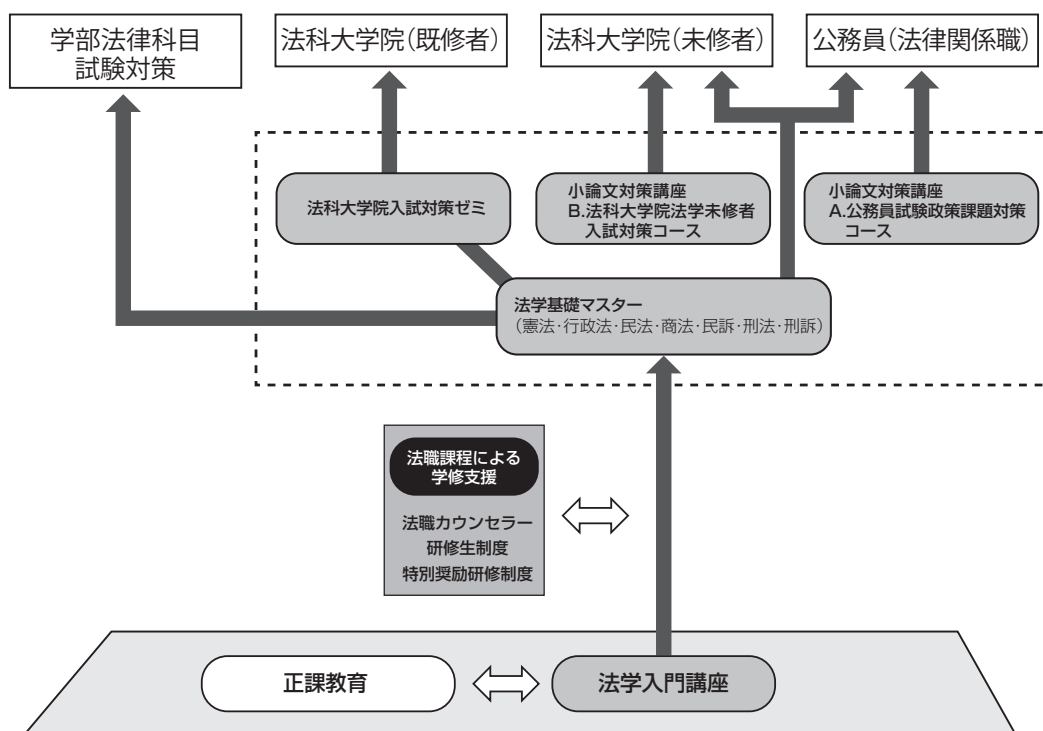
また、皆さんの中には入学時点から公務員を志望する人も多いと思いますが、行政は法律に基づいて行われるものなので(「法律による行政の原理」といいます)、一般行政職の国家公務員(総合職、一般職)や都道府県・市町村の地方公務員もまた、実は、法律とは切っても切り離せない職業です。さらに、警察官は、英語では法律執行官(Law Enforcer)という言葉が当てられているので、広い意味では法律関係職といってよいでしょうし、消防士もまた消防法の専門家です。

しかし、このように広い意味での法律関係職にはどのような採用試験があり、どのように学習を進めていけばよいか、具体的に理解している方は少ないように思います。

そこで、法職課程では、皆さんが大学での学修と、法職課程の受講を通じて、低年次から体系的に自身のキャリア形成や進路について考えることをサポートしつつ、年次進行に応じて、法曹志望(法科大学院への進学)、裁判所事務官や一般行政職の公務員(特に専門試験に法律系科目がある場合)にも対応できるような講座を開講しています。

また、法職課程では、受講生の学内での自主的学習環境の充実にも力を注いでいます。具体的には、受講生のために、自習用の学習室を用意しています。加えて、「法職課程相談室」を設置し、法職カウンセラーが学習方法や受験対策の方法などについてアドバイスを行うことで、よりみなさんの学習を支援する体制を強化しています。

法学部の学生の皆さんに限らず、法律科目が苦手な学生の皆さん、公務員を含む法律関係職への就職を希望する皆さん、さらには、学外の受験予備校への通学を考えている皆さん、法律学の知識を深めたいと考えている皆さんも、ぜひ法職課程を受講してください。皆さんの夢をかなえるお手伝いをする、それが法職課程です。



## 申込方法・受講料について

- ①受講料は証明書発行サービスを利用して支払ってください。
- ②支払い後、法職課程ホームページに掲載されたURL(Microsoft Forms)より、申し込みを行ってください。  
申し込み後、法学部教務課よりメールで連絡をします。
- ③初めて伊藤塾提供講座を申し込みの際は、別途、ご自身で伊藤塾マイページに登録してください。

**【申込期間】** 2026年4月1日(水)～2026年12月18日(金) ※研修室は4月7日(火)まで  
**【受講料(税込)】** 講座により料金が異なります。以下を確認してください。

講座名	受講料(税込)
法学入門講座(伊藤塾提供講座)対象：法律科目初学者(1・2年生中心)	15,000円
法学基礎マスター講座(伊藤塾提供講座) 対象：法科大学院・法曹志望の1～3年生中心	憲・民・商・刑セット 60,000円
	個別：憲法、行政法、民法、商法、刑法、 民事訴訟法、刑事訴訟法 各20,000円
小論文対策講座 対象：小論文が苦手な方、法科大学院未修コース・ 公務員志望者(1～3年生中心)。 定員10名程度	A. 公務員試験政策課題対策コース 20,000円
	B. 法科大学院法学未修者入試対策コース 20,000円
法職課程 研修室(研修生) 申込期間：2026年4月1日(水)～4月7日(火) ※応募資格は8ページを確認 ※事前に学習計画書の提出が必要となります。利用許可が出てから受講料を支払ってください。	1年間 20,000円 半年間 10,000円
法職課程 相談室 個別指導プログラム 法職カウンセラーと一緒に学習計画をたてて進捗状況を検討する等、継続的な指導を受けられるプログラムです。	15,000円 ※法職課程受講者および 法職課程研修生は無料

※法科大学院入試対策ゼミについては、ホームページを確認してください

## 受講料応援制度

法職課程では、勉強を続ける皆さんを応援するため、2つの制度を用意しています。

### 特別奨励 研修制度

「法学基礎マスター講座」、「法科大学院入試対策ゼミ」受講者を対象とした受講料応援制度です。特別奨励生選考試験を受験し、一定の成績を納めた場合、受講料が後日補助されます。  
選考試験は、A、Bとも、憲法・民法・刑法(各10問 合計30問)の短答式試験となります。  
締切までに法学部教務課に申し込んでください。

特別奨励研修制度A	
対象	当該年度の法学基礎マスター講座受講者のうち2年生
対象人数	5名程度(3割以上の得点を得た者に限る)
試験実施日	2027年1月8日(金) 16:55～18:10(予定)
会場	えこうかん 慧光館 409教室
申込締切	2027年1月6日(水)まで

特別奨励研修制度B	
対象	当該年度の法科大学院入試対策ゼミ受講者のうち3年生以上
対象人数	5名程度(3割以上の得点を得た者に限る)
試験実施日	2026年4月17日(金) 16:55～18:10(予定)
会場	慧光館409教室
申込締切	2026年4月15日(水)まで

# 法職課程講座は進路選択の可能性を拡げます！

## 自分の進路をすでに決めていますか？

もちろん進路はなかなか決まるものではありませんし、決めつつも途中で変わっていくことは多々あることです。

とはいえ、大学時代の4年間は、自分の進路選択にとってかけがえのない4年間であり、この間で何をするか、大切なことは言うまでもありません。言い換えれば、何も考えず何も行動も起こさず、学業にも力を入れず、ただなんとなく時間を過ごしてしまい、周りの人たちが就活を始めたからあわてて適当に就活を始めるといったことは、一番避けなければなりません。

そこで、法職課程では、皆さんの進路選択の可能性をさらに拡げるために、法曹・公務員(法律関係職)・学部試験に活かせる講座を1年生から学年に応じて提供しています。ぜひあなたの進路選択に役立ててください。

大切なことは「あなたは日本や世界をどんな社会にしたいのか」、そのために「自分は何ができるのか」を早めに考えて、自分で目標を決め、自己の人格を磨きながら大学生活を過ごすことです。

## 法職課程講座4つの特長

### 1 講座の選択肢が多彩

法曹・公務員(法律関係職)・学部法律科目試験に活きる3つの講座と1つのゼミを用意しました。

#### ■1・2年生向けの「法学入門講座」(p.3)

1年生から幅広い進路選択に向けた学習が開始できるよう、法律基本科目や法律資格試験の重要科目を中心に、Web講義と学内ライブ講義を行います。

#### ■「法学基礎マスター講座」(p.4)

法律の基礎をしっかりと学ぶことができる講座です。7科目を開講しますので、国立大学の法科大学院入試にも対応しています。各科目、個別に受講ができますので、苦手な科目対策だけでなく、裁判所事務官などの公務員試験に必要な法律科目対策としても活用できます。

学内ライブ講義では、答案の書き方に関する講義を行い、その後論文答案を作成することで、法科大学院入試の論文試験対策に必要なインプットとアウトプットを行います。

#### ■「小論文対策講座」(p.5)

法職課程では、レポートや小論文が苦手という学生のために、新しく2つの小論文対策講座を用意しました。

- A. 公務員試験政策課題対策コース
- B. 法科大学院法学未修者入試対策コース

#### ■「法科大学院入試対策ゼミ」

法科大学院法学既修者コース入試の過去問を使った答案作成と添削、解説を行うゼミ形式の講座です。

### 2 工夫された講義・スケジュールときめ細やかな個別指導

#### ■「法学入門講座」「法学基礎マスター講座」

- 自分のペースで学習しやすい「Web講義」と、無理なく続けられる「学内ライブ講義」

スマホなどで学べるWeb講座をベースとした授業となります。配信スケジュールが決まっているため、スケジュールに沿った受講をすることで、無理なく勉強時間の管理ができます。また、視聴可能期間内はいつでも・何度でも聞くことができるため、スケジュール通りにできなかった回の挽回もでき、弱点を克服することもできます。さらに定着力をUPさせるために、重要な個所をピックアップした「学内ライブ講義」も実施。遠くの受講生も通いやすいよう、授業実施

期間中に大学内で実施します。ここではWeb講義でわからなかった点を質問することもできます。

希望により個別指導や補助講義を随時実施します。各講座の講師や法職課程相談室の法職カウンセラーに相談してください。

#### ■「法科大学院入試対策ゼミ」※詳細はホームページを確認

本学出身の弁護士を講師とした、①「憲法・民法・刑法」の答案練習を行うゼミに加え、法学部教員を講師とした②「行政法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法」の答案練習を行うゼミを新しく開講することになりました。

「憲法・民法・刑法」コースは土曜日に開講されます。受講生は答案を起案することで、書く力を着実に強化することができます。

「行政法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法」は全部で12回、不定期で開講されます。

どちらも、法科大学院法学既修者コース合格に必要な科目について、答案作成力を身につけることができます。

いずれも少人数ゼミでの開講のため手厚いサポートが受けられます。

### 3 ワンランク上の学習サポート：法職課程相談室/研修室

法職課程相談室(p.7)を4号館2階に設け、授業実施期間中は、法職カウンセラーが常駐しています。法科大学院入試や、司法試験をはじめとする各種国家試験や公務員試験(法律関係職)について、最新の情報を提供しながら、将来の進路について一緒に考えます。各講座に関する質問、学習方法や面接対策、志望先の選択なども相談できます。また学内ライブ講義を欠席した場合は、こちらでレジュメを受け取ることができます。

さらに、有料ですが、司法試験等の資格試験、法科大学院進学を目指す方のために、法職課程研修室(p.8)を設置しています。個人用指定席・ロッカーの他、書架には勉強に必要な資料を揃えています。

### 4 価格がリーズナブル

「法学入門講座」「法学基礎マスター講座」のWeb講義は、大学からの支援を受けているため、伊藤塾の正規受講料と比較するとかなり格安です。

# 法学入門講座（1・2年生向け）

※伊藤塾「司法試験入門講座 体系マスター」（約108,000円）と同一内容です。

本講座は、法学部1・2年生や法学未修者を主な対象としています。

法律科目の基本理解から始まり、本格的な法曹・公務員試験の法律系科目学習への橋渡しを行います。

科目の全体構造と「何を」「どう」学べばよいか分かり、今後の学習効率がグンとUPします。法律科目が苦手な方にもおすすめします。

受講対象	法律科目・公務員試験法律系科目対策初学者 (1・2年生中心)
受講料	15,000円(税込)

## 【おすすめポイント】

1. テキストは450ページ以上あるが非常にわかりやすい。
2. 各法律科目のイメージがつかめる。
3. 法律科目の講義の理解が容易になる。
4. 試験の合理的学習法がわかる。
5. 法曹・公務員試験勉強のスキルがわかる。

## 【Web講義 法学入門講座概要】

視聴期間：2026年4月1日(水)～2027年3月31日(水)

法学基本科目の法学入門・憲法・民法・刑法・商法・民訴法・刑訴法・行政法・法律実務(全39時間)が学習できます。4月から法学の全体講座が学べるよう、講座を配信します。配信スケジュールは龍谷大学「法職課程」ホームページで確認してください。

## 【学内ライブ講義概要】

学内ライブ講義は、Web講義とはまた違った観点から、より理解が深まるような講義です。Web講義でわからなかったことについて、質問もできます。

科目	担当講師
憲法(4回)	皆月 健太郎(弁護士)
民法(6回)	中出 弘之(伊藤塾専任講師)
刑法(4回)	水川 恒佳(伊藤塾専任講師)

## 【教材】

体系マスター「学ぼうテキスト」教材は自宅に配達するので、必ず、伊藤塾マイページに登録してください。登録後、1週間ほどで到着します。通学ライブ講義には教室に各自持参してください。その他、必要に応じてレジュメを配布します。講義には六法も持参してください。

僕は法曹を目指していたので、入学してすぐに法職課程の「法学入門講座」を申し込みました。

その講座では憲法や民法などの法律科目の体系的な内容を説明してくれたので、それまで無縁だった法律科目の内容が非常に理解できました。

そして、テキストも400ページ以上もあり、非常にわかりやすく説明してくれています。

この2年間、法職課程の講座や大学の授業を聴いていますが、入学してすぐにこの入門講座を聴いたことが、その後の勉強の指針となりに大いに役立っています。

これから法律の勉強を始められる新入生の皆さんに、ぜひこの法学入門講座をお勧めします。

新三回生 T・Fさん

学内ライブ講義の実施日程(全15回)			
回	日程	16:55~18:25	教室
1	2026年5月11日(月)	法曹・公務員(法律関係職)を志す人へ	えこうかん 慧光館 102
2	5月18日(月)	憲法1	
3	5月25日(月)	憲法2	
4	6月1日(月)	憲法3	
5	6月8日(月)	憲法4	
6	6月15日(月)	民法1	
7	6月22日(月)	民法2	
8	6月29日(月)	民法3	
9	7月6日(月)	民法4	
10	7月13日(月)	民法5	

学内ライブ講義の実施日程(全15回)			
回	日程	16:55~18:25	教室
11	2026年7月20日(月)	民法6	えこうかん 慧光館 102
12	9月28日(月)	刑法1	
13	10月5日(月)	刑法2	
14	10月19日(月)	刑法3	
15	10月26日(月)	刑法4	

## ※2026年5月11日(月)オープン講義

「法曹・公務員(法律関係職)を志す人へ」

法科大学院合格のための合理的勉強方法

検事実務・弁護士実務について

公務員試験について など

講師：赤井勝治元検事・皆月健太郎弁護士・水川恒佳伊藤塾講師

予約不要、未受講者でも参加可

# 法学基礎マスター講座

※伊藤塾開講の「司法試験入門講座 基礎マスター法律基本科目・リーガルトレーニング基礎編」（約1,043,000円）と同一内容です。

憲法・行政法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法といった基本7科目の基礎を理解し、法科大学院入試や、専門試験に法律系科目がある公務員試験に必要な法律知識の基礎を固めます。

お得な憲・民・商・刑のセット講座のほかに、必要な科目だけを受講できる講座も提供しています。

Web講義でインプット、学内ライブ講義でアウトプットを行うことで、着実に力を養います。

答案作成がわからない方は必ず「学内ライブ講義」を受講してください。

受講対象	法科大学院・法曹、公務員（法律関係職） 志望の1～3年生
受講料	憲・民・商・刑セット：50,000円(税込)
	個別（憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法）：各20,000円(税込)

## 【Web講義 法学基礎マスター講座概要】

視聴期間：2026年4月1日(水)～2027年3月31日(水)

※配信スケジュールは龍谷大学「法職課程」ホームページで確認してください。

〈司法試験予備試験・法科大学院入試合格レベルの法律の基礎を本格的に学べる講座です〉

伊藤塾入門講座の、まさに核となるインプット講座として、これまで多くの合格者を輩出してきた実績のある代表的講座です。公務員試験の法律科目の基礎固め、司法試験予備試験・難関法科大学院合格まで、法律関係の資格取得に必要な力を着実に修得します。

また、Web講義なので、自分に合ったペースで受講できます。一気に学習したい方はもちろん、学部試験時期やサークル活動が忙しい時期があっても、学習時間を自由にカスタマイズすることが可能です。大学生活と両立できて、法律を初めて学ぶ他学部の学生や、まだ法律系資格の目標を決めていない方にもおすすめのコースです。

## 【学内ライブ講義 リーガルトレーニング基礎編概要】

〈基礎マスターの知識をもとに、論文式試験の合格答案の書き方を学べる講座です〉

法学基礎マスター講座でインプットした知識と理解を、論文式問題演習を通じて、実際に答案を時間内に書くことで、本番の試験に必要な応用力を実践的に訓練します。

論文式の答案練習では、最初は誰もが何も書けず苦しい時間を過ごすだけになるのが通常です。そこで、通学ライブ講義においては、毎回テーマを決めて、最初に答案の書き方講義を実施した後、答案を書く方法を採り、最終的に答案を作成するために必要な能力を効率よく習得できるようにトレーニングします。

答案練習については、インプットが不十分だからと後回しにされる方も多いのですが、アウトプットの訓練はできるだけ早く開始することが重要です。実際に決められた時間内に答案を書くトレーニングをすることで、自分が試験で合格点を獲得するために必要な学習は何か、いち早く検証できます。その検証を繰り返すことで、合格に向けて、マスター講座の勉強方法をアウトプットを意識したものに修正していくことが可能になるのです。

## 【教材】

入門講義テキストと答練教材は自宅に配達します。必ず、伊藤塾マイページに登録してください。登録後、1週間ほどで届きます。

答練の実施日には問題・解説と答案用紙を持参してください。また、六法も持参してください。

担当講師 中出 弘之(伊藤塾専任講師)

## ■学内ライブ講義の実施日程

本問の書き方講義(30分)+論文答練1問(60分)

回	日程	16:55～17:25(30分)	17:30～18:30(60分)	教室
1	2026年5月29日(金)	答案の書き方講義 憲法1回	答練・質問受付	えこうかん 慧光館 102
2	6月12日(金)	答案の書き方講義 憲法2回		
3	6月26日(金)	答案の書き方講義 憲法3回		
4	9月25日(金)	答案の書き方講義 民法1回		
5	10月9日(金)	答案の書き方講義 民法2回		
6	10月23日(金)	答案の書き方講義 民法3回		
7	11月6日(金)	答案の書き方講義 民法4回		

※法科大学院入試対策ゼミ受講希望者は、学内ライブ講義も必ず受講してください。

## 小論文対策講座 A. 公務員試験政策課題対策コース

公務員試験に必要な小論文「政策課題」対策を行います。

小論文作成のスキルが向上するだけでなく、過去問等を通して、どのような政策課題があるのか、それに対してどのような視点で解決策が提示できるのか、課題に対する分析力も身につけることができます。

受講対象	公務員志望者(1・2・3年生中心)
受講料	20,000円(税込)

### 【学内ライブ講義】

オリエンテーションでは、公務員試験の概要や求められるスキル等について解説し、今後の授業の進め方を説明します。

2回目以降は、小論文の書き方について講義を行い、公務員試験(政策課題)の過去問等を使って、実際に書いて提出してもらいます。

前期・後期、10回開講いたします。

担当講師 久木田 淳(伊藤塾専任講師・行政書士)

	日程	15:15~16:45	教室
1	2026年5月13日(水)	オリエンテーション	えこうかん 慧光館 307
2	6月10日(水)	グループテーマは当日発表します。実施後1週間以内にメールにて答案提出。	
3	7月15日(水)		
4	8月5日(水)		
5	9月30日(水)		
6	10月14日(水)		
7	11月18日(水)		
8	12月23日(水)		
9	2027年1月13日(水)		
10	2月17日(水)		

## 小論文対策講座 B. 法科大学院法学未修者入試対策コース

法科大学院法学未修者コース入学試験に必要な小論文対策を行います。

レポートや小論文の作成がわからない、書くことが苦手だという学生は受講をおすすめします。

小論文を自分で何度も書き、講師にどこをどう直せばよいか具体的なアドバイスをもらうことで、確実に書く力がUPするとともに、深い思考力を身につけることもできます。

受講対象	法科大学院法学未修者コース志望者(1・2・3年生中心)
受講料	20,000円(税込)

### 【学内ライブ講義】

オリエンテーションでは、法科大学院法学未修者コースの概要や、入試制度等について解説し、授業の進め方などを説明します。

2回目以降は、小論文の書き方について講義を行い、法科大学院法学未修者コース入試の過去問等を使って、実際に書いて提出してもらいます。

前期・後期、10回開講いたします。

担当講師 久木田 淳(伊藤塾専任講師・行政書士)

	日程	16:55~18:25	教室
1	2026年5月13日(水)	オリエンテーション	えこうかん 慧光館 307
2	6月10日(水)	グループテーマは当日発表します。実施後1週間以内にメールにて答案提出。	
3	7月15日(水)		
4	8月5日(水)		
5	9月30日(水)		
6	10月14日(水)		
7	11月18日(水)		
8	12月23日(水)		
9	2027年1月13日(水)		
10	2月17日(水)		

# 弁護士・裁判官・検察官（法曹）を志す方へ

弁護士・裁判官・検察官(法曹)になるためには、司法試験に合格し、1年間の司法修習を経て、2回試験と呼ばれる司法修習生考試に合格する必要があります。

司法試験を受験するためには①法科大学院に進学・修了、または、②司法試験予備試験に合格する必要があります。司法試験は、法科大学院に進学した場合、在学中から受験可能です。最初の受験から5年間、受験できます。司法試験予備試験は、前年に論文式試験まで合格していても、翌年短答式試験から受けなおす必要があります。

段階的・体系的学修の観点から、司法試験への準備は法科大学院カリキュラムを中核に据えることを推奨します(結果的に、それが一番、確実に近道です)。

## ●司法試験科目：論文式試験と短答式試験の2種類

短答式試験 憲法、民法、刑法

論文式試験 公法系(憲法・行政法)、

民事系(民法・商法・民事訴訟法)

刑事系(刑法・刑事訴訟法)

選択科目

司法試験を受けるためには、2つのルートがあります。

### 1. 法科大学院に進学 ※こちらがおすすめ!

法学既修者コース(2年)と法学未修者コース(3年)があります。法学部出身の場合は既修者コースを受ける学生が多いですが、未修者コースを受けることも可能です。

また、学部3年次に、法科大学院の入学試験を受験できる「飛び入学」制度がある法科大学院もあります。

大学によって試験科目が異なりますので、必ず確認してください。たとえば関西の私大は、憲法、民法、商法、刑法、国公立大は憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法などとなっています。

入学試験も、大学によっては複数回実施されますので、チャンスは増えます。

また、学費・入学金等の減免制度や返済不要な奨学金といった経済的支援制度が用意されているところもあります。

法科大学院についての詳しい情報は、それぞれの法科大学院のホームページを確認してください。

司法試験は、在学中から受験可能です。最初の受験から5年間、受験できます。

### 2. 司法試験予備試験を受験

受験資格はありません。学歴や職歴、国籍に関係なく、誰もが短答式試験から受験することが可能です。法科大学院に在籍しながら受験する学生も多くいます。

7月に短答式試験、9月に論文式試験、最終の口述試験は翌年1月に実施されます。短答式試験に合格すると論文式試験を受験することができます。また論文式試験に合格すると口述試験を受けることができます。最終合格率は令和6年度が3.57%と、旧司法試験と同じくらいの超難関試験です。

短答式試験は、公法系(憲法・行政法)、民事系(民法・商法・民事訴訟法)、刑事系(刑法・刑事訴訟法)、一般教養科目となっています。

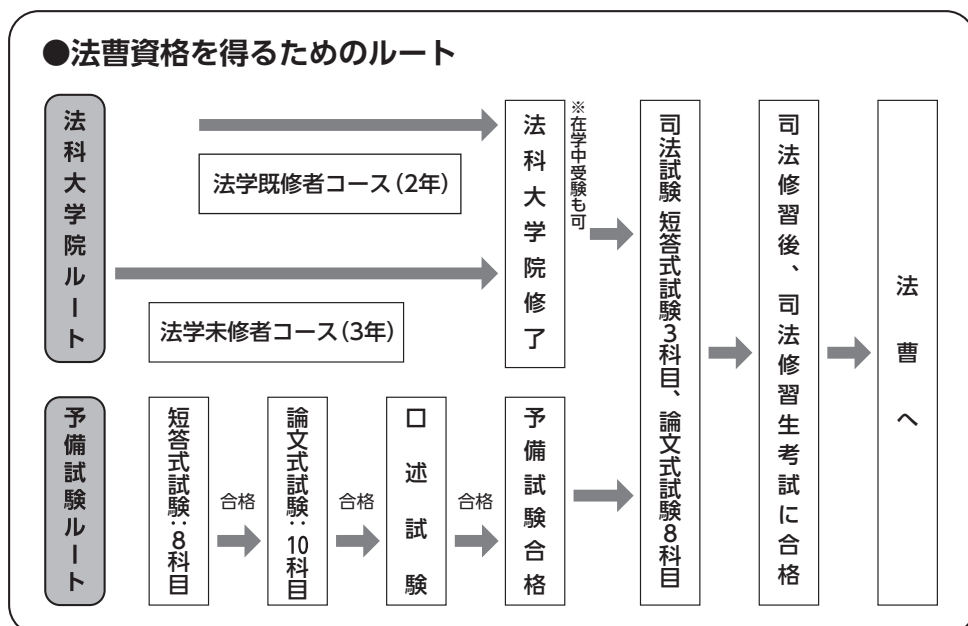
論文式試験は、公法系(憲法・行政法)、民事系(民法・商法・民事訴訟法)、刑事系(刑法・刑事訴訟法)、選択科目(労働法・経済法・知的財産法・倒産法・環境法・租税法・国際公法・国際私法)、法律実務基礎科目(民事・刑事)となっています。

口述試験は、法律実務基礎科目(民事・刑事)となっています。

詳細は法務省のホームページを確認してください。

また、司法試験予備試験に最終合格した場合は、合格発表日後の最初の4月1日から5年間(最大5回)、司法試験を受験できます。

## ●法曹資格を得るためのルート



# 法職課程相談室：法職カウンセラーが常駐しています

深草学舎の4号館2階(211・212教室)に、「法職課程相談室」を設置しています。授業期間中の平日の午後、法職カウンセラーが常駐し、相談に応じています。法職課程受講者・法職課程研修生は無料で利用できます。

法職課程講座の内容に関する質問はもちろん、勉強計画の立て方や、進路相談、法科大学院入試・司法試験予備試験・司法試験に関する最新情報と試験対策、法科大学院入試での志望理由書の書き方など、一人一人のニーズにあわせてきめ細やかな相談対応を行っています。すべての学部・研究科の学生の皆さんが利用できます。

また、「龍谷大学法学部に入学したが、将来の進路に迷っている」、「なにか資格でもとは思うが、まだなにから手を付けたらいいのかもわからない」、「法学部生ではないが、法曹に興味を持っているので、何からとりかかったらいいのか」といった悩みでも大丈夫ですし、法曹に興味がある方は元検事や弁護士の先生にそれぞれの実務内容を聞いてみましょう。

それぞれの授業スタイル、生活パターンに沿った学習計画と一緒に立てていきましょう。

長期間の勉強のペースメーカーとして相談室を定期的にご利用いただいている方もいます。

**開室日時：平日13:00～15:30**(担当者等開室スケジュールは毎月相談室に掲示し、またポータルサイトで案内します)

※授業実施期間中に開室。祝日、全学休講日は閉室。

**場 所：4号館2階 211・212教室**

※学内ライブ講義の欠席分のレジュメは、法職課程相談室でお渡します。

## 利用方法

直接、4号館2階の相談室にお越しください。予約も可能です。法職課程受講者(研修生含む)の利用は無料です。法職課程受講者でない方も利用できますが、不定期でも利用を継続する方には、個別指導プログラム(1年間15,000円)への切替を推奨しています。

## 利用者の声

宮崎 健太さん

(2025年3月法学部卒業、26年度合格)

進学先：神戸大学法科大学院

合格先：関西学院大学法科大学院(授業料免除+入学金返還)

立命館大学法科大学院(授業料全額免除(2年間・S奨学金))

法科大学院入試や各種資格試験に関する相談をする場として、法職課程相談室は最適な場所です。

私は、法科大学院を受験するにあたり、法職課程相談室を利用させていただきました。主に、受験全般に関する相談や、法科大学院の出願時に求められるステートメントの相談を行っていました。

私が法科大学院の既修入試を突破できたのは、相談員の方々が親身になって相談に乗ってくださり、受験に向けて的確なアドバイスをしてくださったおかげだと感じています。

私は既修コースのみを受験しましたが、未修コースへの進学を検討している方も、ぜひ一度相談室に足を運んでみてください。相談員の方々は多様な経歴をお持ちであり、法科大学院入試に限らず、さまざまなお話を伺うことができます。困ったことや、知りたいこと、相談したいことがあれば、ぜひ法職課程相談室を活用してみてください。

## 2026年度 法職課程相談室 法職カウンセラースタッフ

● 水川 恒佳 伊藤塾専任講師

龍谷大学法科大学院(既修)修了

【担当】進路・受験指導、法律科目一般、志望理由書・法律答案の書き方指導

● 中出 弘之 伊藤塾専任講師

立命館大学法科大学院(既修)修了

【担当】進路・受験指導、法律科目一般、答案の書き方指導

● 赤井 勝治 元検事・元弁護士

立命館大学法学部卒業 司法試験合格

立命館大学法学部・立命館大学法科大学院非常勤講師を歴任

TVドラマ「京都地検の女」シリーズや「科捜研の女」等の法律監修

【担当】検察実務、弁護士実務、受験指導

● 皆月 智子

九州大学大学院法学研究科修士課程(民法法専攻)修了

龍谷大学法科大学院(未修)修了

【担当】進路・受験指導、法律科目一般

● 皆月 健太郎 弁護士

京都大学大学院理学研究科博士課程単位取得後退学

龍谷大学法科大学院(未修)修了

【担当】受験指導、法律科目一般、弁護士実務

● 橋本 亮 弁護士

龍谷大学法科大学院(既修)修了

【担当】受験指導、法律科目一般、弁護士実務

● 石出 稔

大阪大学法科大学院(既習)修了

【担当】法科大学院受験・志望理由書の書き方指導、法律科目一般

● 辻元 雅哉

大阪大学法科大学院(既習)修了

【担当】法科大学院受験・志望理由書の書き方指導、法律科目一般

# 法職課程研修室

4号館2階に法職課程研修室を開設しています。  
研修室には個人指定席が設置され、  
落ち着いた環境で勉強に専念できます。

## 施設概要

- 名 称 / 法職課程研修室
- 所 在 地 / 深草学舎 4号館2階
- 設 備 / 広さ約55㎡
  - ※机およびイス (全18台)
  - ※書類ロッカー (全18台)
  - ※書棚
- 定 員 / 18名



## 利用にあたって

- 応募資格 / 本学に在学する者又は卒業若しくは修了した者で、司法試験又は法科大学院入学試験の合格を目指す者です(講座の受講状況や学習計画書等により総合的に判断します)。  
申込者が定員を超える場合は、当該年度の法職課程を受講する者、在学生を優先します。なお、定員に余裕がある場合には、司法書士試験等の各種資格試験や公務員試験の合格を目指す者も対象としています。
- 利用期間 / 4月から翌年3月末までの1年間です。  
ただし、事前に申し出て許可された場合は、4月から9月末または10月から翌年3月末の半年間とすることもできます。
- 利用時間 / 法職課程研修室を利用できる時間は次のとおりです。  
平 日 9 : 00 ~ 21 : 50  
土曜日 9 : 00 ~ 17 : 00  
日曜日、祝日および大学で定める日は閉室となります。
- 利用料金 / 年間20,000円(税込)(半年間の場合は10,000円(税込))です。
- 利用方法 / 入室管理は電子ロックキーで行います。
- 順守事項 / 1フロアを共用することになるので、皆が気持ち良く利用できる環境の維持を心がけてください。  
また、貴重品は自己責任において管理してください。

## 申込方法

- 申込方法 / 利用希望者は、以下の書類を法職課程ホームページよりダウンロードし、  
法学部教務課(hogaku@ad.ryukoku.ac.jp)にメールにて提出してください。  
①学習計画書 ②座席希望届
- 申込期間 / 4月1日(水)~4月7日(火)  
定員を超えた場合、選考します。定員に満たない場合は、引き続き申込を受け付けます。
- 利用可否 / 法職課程委員会において利用の可否を判断します。
- 注意事項 / 座席位置を決める参考としますので、申込時に座席希望届に希望する場所を記載してください。
- 受講料 / 利用許可ができましたら、証明書発行サービスにて利用料を支払ってください。

# 法科大学院合格者からのメッセージ

宮崎 健太さん (2025年3月法学部卒業)

進学先：神戸大学法科大学院

合格先：関西学院大学法科大学院(授業料免除+入学金返還)

立命館大学法科大学院(授業料全額免除(2年間・S奨学金))



合格者の声 LS過去分

私は、まだ法科大学院への進学を具体的に考えていなかった2回生の春に、法職課程の存在を知り、法学基礎マスター講座を受講しました。当時は「とりあえず全講義を受講する」という姿勢であったため、内容を十分に理解できていたかと問われると、正直なところそうではありませんでした。今振り返ると、少し勿体なかったと感じています。

その後、3回生の春から法科大学院入試対

策ゼミを受講し始め、同年夏に法科大学院を受験することを決めました。ここから本格的に入試対策を始めましたが、2回生の頃に基礎マスター講座を受講していたおかげで、法律全体の構造や基本的な用語のイメージを掴むことができ、具体的な解釈論の理解に集中して学習を進めることができました。

法科大学院入試対策ゼミは、法科大学院入試を突破し、司法試験にも合格された現役の

弁護士の先生方から直接答案添削を受けられる、大変有益な講座です。法科大学院の既修コースを志望するのであれば、必ず受講すべきだと思います。私が入試を突破できたのは、ゼミでいただいた添削やアドバイスを素直に受け止め、自分の中に落とし込み、日々の学習に反映させていたからだと感じています。

また、法職課程研修室については、4回生の春から利用しました。法科大学院の既修コース入試では、受験科目が4~7科目程度あり、これらをバランスよく学習する必要があります。研修室に自分が使用するテキストや基本書をまとめて置いておける点は、大変便利でした。さらに、自習室で学習する習慣を身につけることで、気分が左右されることなく、継続的に学習できるようになった点も大きなメリットでした。

# 司法試験合格者からのメッセージ

在原 愛美さん (2023年3月法学部卒業)

進学先：立命館大学法科大学院(既修)

令和7年度司法試験に在学中合格



合格者の声 司法試験

## 1. はじめに

私は、龍谷大学在学中、決して優秀な学生ではありませんでした。入学当初は、何の知識もなく、答案を書くなんてのも外でした。特別な才能や、ずば抜けたセンスがあったわけではない、ということ念頭においてお読みいただけますと幸いです。

入学当初から法曹を志望しておりましたが、司法試験合格のために何をすればいいかわかりませんでした。そんな時に助けて頂いたのが、法職課程です。

まず、入学してすぐに相談室に転がり込みました。自分の夢を現実にするために必要なことや、この大学に存在している制度など、様々な相談に乗って下さいました。勉強の相談は勿論、ロー入試の志望理由書の添削、将来の不安など、本当に親身になって相談に乗って下さいました。

私は具体的な学習スケジュールを立てることが苦手であったため、大学の講義の進行や法職課程の講座でペースを作っていました。具体的には、1回生の頃から法職課程・伊藤塾の講義を受けるようになり、その後、法科大学院入試対策ゼミに加わった形です。龍谷大学では伊藤塾の講義を比較的安価に受けることができます。まだ右も左もわからない段階で講義を受けてみることで何となくでもその片鱗を掴むという意味で非常に有用です。また、予備校ならではの優先度を知るという使い方も良いと思います。講義中に超重要論点である、と述べられることがあります。このような論点は他の受験生もしっかりと対応してきます。逆に言えば、そのような論点を落としてしまった場合、大幅に点数を落としてしまうことになるのです。母数が多い予備校を使うことで、周りに差をつけられないための守りの一手を考えることが可能であると考えます。

## 2. 法職課程研修室について

龍谷大学では、研修室(有料)を借りることができます。一人ずつに机が割り振られており、毎回席取りに労力を割く必要はありません。机自体は隣り合っていますが、しっかりとし切られており、スペースが確保されています。試験対策用の書籍も充実しており、必要な書籍を全て買う程の余裕がなかった私は、非常に重宝しておりました。勉強の環境が良いことはもちろんですが、私にとっては同じ目標を持つ先輩との出会いが非常に印象的でした。同じ目標を持つ先輩方とお話することは非常に楽しく、その背中を追うことは、私にとっては道が拓けたような感覚がありました。必ず、仲間を作れ、友達を作れ、と言っているわけではありません。人との出会いを得ることができる場所であること、そこには良い出会いもあるということです。色々な視点を得て、視野を広げて下さい。

## 3. 法科大学院入試対策ゼミについて

法科大学院入試対策ゼミではロー入試や予備試験・司法試験などの過去問題を解き、司法試験に合格された、実務家の先生方が添削及び解説して下さる貴重な機会です。知識はもちろん重要ですが、あくまでも、試験対策という観点で忘れてはいけません。いくら時間をかけて素晴らしい答案を書ける力があっても、試験当日に制限時間内に答案を完成させることができないのであれば全く意味がありません。試験官は、これまでの努力を勿論見てはくれず、見てくれるのは当日に提出できた答案のみです。アウトプットの機会を全く設けないと、このような観点を身につけられがちです。

私が大学時代を思い返したときに後悔していることの一つとして、問題演習を怠っていたことが挙げられます。まだ知識のインプットが十分

ではないからと、入試の直前期まで積極的に行いませんでした。今、振り返って分かることですが、インプットが完璧になることは決してないと思います。私の場合は、インプットが十分ではない、というのは不完全な答案を提出し指摘を受けることで自分が傷つくことを回避するための言い訳だったように思います。このような事態は好ましくありません。そこで、少々荒療治ではありますが、定期的に答案を書かざるを得ない状況に自分を追い込むというのも一つの手であると思います。そのような場合にも、このゼミは非常に役に立ちます。

また、当時がコロナ禍だった影響か、私は共に勉強する仲間はありませんでした。そのため、周りの受験生との進度の差などに意識を向ける機会が少なかったと感じます。もっとも、基本的に試験は相対評価であり、他の競争者との実力差を把握しておくことは必要不可欠であると考えます。その点でも、弁護士ゼミというのは良い機会だと思いますし、他の競争者と接する場があることは良いモチベーションになっていたと思います。

## 4. 大学の講義について

ここまで、法職課程について書かせて頂きました。しかし、大学生として忘れてはならないのは、大学の講義です。

大学の講義は司法試験向きではないから、自分には不要である。これは非常に短絡的な考えであると思います。あまり試験には出ない範囲であっても、思考過程やその制度の趣旨などは頭に入れておくべきです。全く知らない問題に当たり、詳しく論証を覚えていなくても、あの時の講義でこのような考え方をしていたがそれが使えるのではないかと、と考え付き救われたことがあります。

大学の講義では、その分野のエキスパートたる先生方が指導して下さいます。さらに、先生方は何かを教えることがお好きであり、どんな質問でもウェルカム!と思っていらっしゃると思います。これは先生から直接お伺いしていることですので、安心して下さい。

要は、講義は好奇心を持って楽しく受けて下さい、ということです。先生方は雑談を交えて講義し

て下さることが多いです。このようなお話は非常に興味深いもので、暗記しようと意識しなくても、自然に頭に入ってくるものです。そのため、なんでも試験に役立たせなくてはならない、と考える必要はありません。自分はどんな分野に興味があるのか知りたい、興味のある分野をもっと探求したい、このようなことが実現できるのが大学の強みだと思います。こんなに恵まれた環境、活用しないともったいないと思いませんか？

## 5. 最後に

司法試験の合格について、絶対的な正解ルートというのは存在しないと思います。

もちろん、私も何が試験対策に必要なのか、と悩んだこともあります。先輩方に理想的な方法をお伺いしたこともあります。確かに、そのような情報は有用です。しかし、先輩方の勉強方法は、先輩方が歩いて来られた長い旅の果てに得られた、1つの方法にすぎません。重要なのは旅の過程です。ではなぜ、このような合格体験記が必要なのか、疑問に思われることだと思います。それは、視野を広げ、選択肢を増やすという点にあると思います。先輩方の勉強方法を一旦実践してみる、合わないならやめる、自分に合う部分は拾っていく。これを行うことができれば、おのずと自分に合った学習法が身に付い

てくと思います。最後は、自分自身と向き合うこととなります。焦りすぎず、成功例の収集に過度に時間を割くことなく、自分自身には何が足りないのか、ということに耳を傾けてみてください。

また、無駄を省く、という考えに固執しすぎないでください。試験対策はこれから嫌というほどできます。大学の間に、様々な分野に興味を持ち、可能性を広げて下さい。これまで、そして、これからの経験は、試験そしてその先の実務で必ず役立ちます。

自分を信じて、最後まで諦めずに突き進んでください。応援しています。

# フォローアップ体制

法職課程では、これまでに記載した各講座のほか、様々なフォローアップ体制により、受講生の皆さんの疑問や、不安の解消、知識の確実な定着などをお手伝いしています。

## ① 「法職課程相談室」で法職カウンセラーによる質問対応

法職カウンセラーが法職課程相談室に常駐し、皆さんの質問や学習をする上で生じる悩みなどの相談に応じます。

## ② 法職課程研修室の利用

別途申込(有料)を行うことで、4号館2階の法職課程研修室を利用することができます。研修室には個人指定席が設置されており、落ち着いた環境で勉強に専念できます。申込方法等の詳細は、P.8をご確認ください。

## ③ 問題集や資格試験対策雑誌等の図書利用

法職課程では受講生が自主学習や資格試験対策に利用できるよう、法職課程相談室や法職課程研修室に問題集や資格試験対策雑誌等を配架しています。ぜひ活用してください。

## ④ 特別奨励研修制度や講演会等の実施

受講料が補助される「特別奨励生」の選考試験の実施(詳細はP.1を参照)や、様々な講演会を開催しますので活用してください。

## Fukakusa Campus

### 龍谷大学 法職課程

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67  
Tel : 075-645-7896 FAX : 075-643-9901  
e-mail : hogaku@ad.ryukoku.ac.jp (法学部教務課)  
<https://www.ryukoku.ac.jp/faculty/syokatei/housyoku/>

